

3月の野菜の見通し

令和3年2月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,224	平年並 み	11,184	77	110%	91	0	0.0%	千葉県産のトンネル栽培は生育順調。神奈川県産は出荷が前倒し傾向で、下旬には減少するため、相場の上昇が見込まれる。全体数量は前年並みで、平年比微減の見込み。単価は前年比1割高いが、平年比では1割安い。
はくさい	8,079	多い	7,466	103	34%	105	0	0.0%	茨城県産は秋冬作の残量があり、春作の生育も順調。数量は平年を上回り潤沢な出回りとなる中、需要期が過ぎて厳しい販売が予想される。単価は前年・平年の半値を下回る低水準。
キャベツ	18,316	多い	18,008	93	81%	102	0	0.0%	愛知県、千葉県、神奈川県産の生育は順調。春キャベツの増量期に合わせて量販体制を取るため、中旬頃は相場の下がり目か。全体数量は前年並みで、平年をやや上回る。単価は平年比で2割以上安い。
ほうれんそう	1,359	平年並 み	1,453	499	76%	439	0	0.0%	気候が暖かく、生育は順調。数量潤沢で2月下旬に相場が下落、3月は保合いで推移の見込み。全体数量はやや少なかった前年より多く、平年並み。単価は平年比で1割安い。
ねぎ	4,444	やや少 ない	4,182	226	190%	300	18	0.4%	関東産は干ばつの影響で作柄はやや不良のために全体数量は少なく、高値が続いている。しかし、3月中旬以降は需要期を過ぎ、春作が増えるため、相場は軟化の見込み。全体数量はやや多かった前年より少なく、平年比で微減。単価は平年比で4割以上高い。
きゅうり	6,266	平年並 み	6,396	352	97%	322	0	0.0%	各産地、生育は順調。北関東産が増量し、西南暖地産と重なって数量充分。量販体制に向けて相場は軟化の気配。全体数量は前年、平年比で微減。単価は平年比で若干高い。

3月の野菜の見通し

令和3年2月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
トマト	5,472	平年並 み	6,186	458	72%	423	-	-	各産地、生育は順調。やや小玉で2L以上の大玉が出なくなっている。安値が続いて価格がこなれており、暖かくなれば需要が伸びて、価格は幾分か底上げが期待される。全体数量は、少なかった前年を上回り、平年並み。単価は平年比で2割安い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)